

第2 常任委員会 行政視察報告書

1. 日時 令和4年11月1日（火）～11月3日（木）
2. 視察先 高知県 本山町「アウトドアヴィレッジもとやま」
11月2日（水）視察
3. 目的 留萌市観光グランドデザインの策定を踏まえ、株式会社モンベルと連携したアウトドア拠点整備として、先進地である本山町を視察し、海をメインとしたアウトドアの拠点として、健康増進や子どもの健全育成の面も含め、今後の事業の可能性やメリット、課題等の調査研究をする。
4. 視察対応 本山町副町長 高橋 清人
政策企画課長 中西 一洋
モンベルアウトドアヴィレッジ 角川 滉一郎
5. 視察議員 鵜城雪子 芳賀博康 小野敏雄 村上 均
燕 昌克 米倉靖夫 小沼清美

6. 報告内容

事業目的

自然資源を活用したアウトドア体験等で観光客の誘致を目指し「全町アウトドアの里づくり」を進めており、株式会社モンベルの監修を受けた施設を整備し、観光・交流人口の増加や雇用の拡大・地産地消などの地域の活性化を目指している。目標は年間6万人超の観光客誘致。

施設概要

ビジターセンター（モンベルストア併設）、コテージ（5棟10室）、レストラン、温浴施設、団体宿泊棟（最大62名収容）、体育館等

事業費

■施設本体総事業費 860,000千円

◎シャワー棟 84,069千円（平成29年）

財源：地方創生拠点整備交付金（1/2）

◎ビジターセンター、入浴施設、コテージ、レストラン棟、団体宿泊棟、
屋外工事、駐車場等屋外工事、備品等 775,931 千円 (平成 30 年)

財源 ・ 過疎対策事業債

・ 高知県交付金～起債償還金額に対する交付税措置 (70%) を除く
町負担金の 25.5% の支援

※高知県のアウトドア活動の拠点施設なので県の交付金

■その他の施設整備経費

造成費：約 61,400 千円、設計費：約 69,000 千円

監理費：約 13,500 千円 その他：約 7,100 千円

※町負担財源 総事業費約 10 億円の 7% 約 7,000 万円

※施設運営に伴う指定管理料 年 2,100 万円

事業効果

1. 観光・交流人口の増加として、今年度は年間利用者が約 63,000 人
2. モンベルアウトドアヴィレッジの開設に伴い、新規雇用 34 名
(正規社員 7 名・町内雇用 18 名・町外雇用 16 名)
3. 税収は法人税 400 万円増加
4. 体育館を含めた廃校舎を利活用し、修学旅行や合宿など団体宿泊施設として利用
5. 子どもの育成として、観光庁の予算でアウトドアを子どもに伝える「サステナブルな観光コンテンツ強化モデル事業」に採択。
(事業内容：子どもにアウトドア文化を！アウトドア教育旅行の誘致)

課題

1. 地元にはこの「アウトドアヴィレッジもとやま」にしか無いレストランと温浴施設だが、地元住民の利用が少ないため利用増への取組みを考える。
2. コテージの冬季間の利用減が課題となっており、冬場の活用への工夫が求められる。
3. 施設から町内への誘導が充分でないため、今後の活用のあり方について協議会を作

り検討中である。

4. 施設の認知は、SNS や口コミなどが主であり、利用者分析として県内 64% 県外 36% からすると PR 不足である。
5. インストラクターなどの人材育成がさらに必要である。

考察

1. 市民の健康増進を考える視点からは、温浴施設の整備は必要だと考える。
市民サービスの向上のため、また、留萌市を訪れた海水浴客の利用やアウトドアの拠点を考えるならば、収支に捉われずに整備をする必要性を感じる。
さらに、市民の利活用の頻度を上げるためには、サウナ等を備えた温浴施設も有効だと考える。
2. レストランの開設においては、地元食材を活用した食育推進事業や、コテージ等へのケータリングサービスなどが考えられるが、留萌産のお米や新鮮な魚介類、野菜など留萌産の食材を利用し、留萌食の魅力を提供できるのではないかと考える。
3. 経営状況については、(株) モンベルと年間指定管理料が 2,100 万円で 5 年間の指定管理を結んでいるが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け赤字が続いていたが、令和 4 年度は赤字解消の見込みである。
しかし、モンベルショップにおいては売り上げが低迷しており、モンベルアウトドアビレッジ留萌を開設するには安定的な運営を求められることから、施設の内容などを慎重に検討するべきだと考える。
4. 本山町のアウトドアヴィレッジの施設整備経費における町の負担は全体の 7% ということだが、留萌市民においては、総事業費と市の負担金など大きな財政負担を懸念している。
そのため、事業全体の規模を確定し、過疎債の活用や国・道の補助金、ふるさと納税による基金利用などを考慮する中で、市民に対して財政見通しを示すことにより市民理解を求める事が重要な課題と考える。
5. 留萌市において同様な事業展開を想定したならば、海の活用と冬季間の活用がキーポイントになると考える。

さらに、留萌市だけではなく、増毛町や小平町の自然環境や食など管内一斉で考え、広域で生き残るための拠点とすることを検討する必要があると考える。

6. 温浴施設やレストランなどを求める市民の声も多く、本山町で見えた課題を検討しながら、行政側やモンベル側の満足度だけではなく、市民の満足度を満たすことが必要であると考ええる。